

平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月8日

上場取引所 大

上場会社名 セキ株式会社

コード番号 7857 URL <http://www.seki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関 啓三

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営管理本部長 (氏名) 松友孝之

TEL 089-945-0111

四半期報告書提出予定日 平成24年2月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	9,425	△6.0	453	46.0	548	37.9	313	39.0
23年3月期第3四半期	10,027	△1.5	310	△5.0	397	0.3	225	41.2

(注) 包括利益 24年3月期第3四半期 266百万円 (—%) 23年3月期第3四半期 126百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	75.02	—
23年3月期第3四半期	53.87	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年3月期第3四半期	14,017	11,637	81.1	2,730.57
23年3月期	14,028	11,487	80.1	2,685.58

(参考) 自己資本 24年3月期第3四半期 11,374百万円 23年3月期 11,234百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	10.00	—	10.00	20.00
24年3月期	—	10.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	13,000	△2.4	450	12.7	537	27.0	300	31.3	71.72

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	4,508,000 株	23年3月期	4,508,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	342,556 株	23年3月期	324,856 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	4,174,390 株	23年3月期3Q	4,183,228 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期の連結業績に関する定性的情報(3)連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報(その他)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	8
(3) 継続企業の前提に関する注記	9
(4) セグメント情報等	9
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において当社グループが判断したものであります。

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災の影響により停滞していた企業活動に回復の兆しが見られたものの、電力供給不足の問題や円高・株安の進行、欧州の財政不安を起因とする国内外の景気減速により、先行きが不透明な状況で推移しました。

当社グループの属する業界におきましても、個人消費の伸び悩み、企業の広告宣伝費の削減、企業間競争の更なる激化に伴う受注単価の下落などにより、経営環境の厳しさは増しております。

こうした情勢のもと、当社グループでは印刷需要の集中する首都圏・関西圏における営業活動の強化、既存取引先に対する印刷需要の掘り起こしを図るなど、印刷関連事業の業績確保に努めましたが、景気低迷に伴う企業の広告宣伝費削減の動きに歯止めがかからず、また債権回収リスクの回避を目的とした取引調整を実施したことなどが影響し、売上高は9億4千250万円（前年同四半期比6.0%減）となりました。利益につきましては、生産体制の合理化やコスト削減などにより、営業利益は4億5千300万円（前年同四半期比46.0%増）、経常利益は5億4千800万円（前年同四半期比37.9%増）、四半期純利益3億1千300万円（前年同四半期比39.0%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

①印刷関連事業

東日本大震災による企業活動の停滞が徐々に回復する中で、大都市圏における印刷需要の掘り起こしの成果が表れ、売上高は6億6千780万円（前年同四半期比0.3%増）、営業利益は4億700万円（前年同四半期比57.0%増）となりました。

②洋紙・板紙販売関連事業

印刷需要が落ち込む中、震災の発生が販売需要の減少に拍車をかけたことなどで、売上高は7億4千800万円（前年同四半期比40.9%減）、営業利益は3千400万円（前年同四半期比37.9%減）となりました。

③出版・広告代理関連事業

東日本大震災の影響で企業の広告宣伝費削減の動きが拡大、既存メディアとの競争が激化する厳しい事業環境下、売上高は1億1千500万円（前年同四半期比0.5%減）となりましたが、コスト削減に努めた結果、営業利益は1千300万円（前年同四半期は52万円の営業損失を計上）となりました。

④美術館関連事業

セキ美術館では平成23年度の特別企画展として、10月19日から11月27日までの会期で「樹と花 その音色 愛媛ゆかり 京都日本画壇の正統派 黒光茂樹 茂明展」を開催し、滋賀と京都の黒光家、愛媛県美術館、今治市大三島美術館、成川美術館、愛媛県西条市、個人収蔵家のご協力で初公開の作品を含め約40点を展覧しました。当事業は売上高300万円（前年同四半期比13.8%減）、営業損失2千600万円（前年同四半期は2千400万円の営業損失を計上）を計上しておりますが、マスコミ取材記事や地域での観光施設紹介、また県内外からのリピーターを含む多数の来館者を通じて当社のイメージ向上につながっており、地域の活性化や地域文化の発展に寄与しているものと考えております。

⑤カタログ販売関連事業

オフィス関連用品通信販売業者に対する売上が、同業他社との競争激化などにより減少し、売上高は8億7千9百万円（前年同四半期比10.1%減）となりましたが、コスト削減など収益力の向上に努めたことなどにより、営業利益は2千5百万円（前年同四半期比16.7%増）となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間の総資産は、前連結会計年度末に比べ1千万円減少し、140億1千7百万円となりました。これは主に、投資有価証券が17億1千6百万円と前連結会計年度末に比べ1億6百万円減少したことなどによるものであります。

負債は、前連結会計年度末に比べ1億6千万円減少し、23億8千万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金が13億6千2百万円と前連結会計年度末に比べ5千5百万円減少したことによるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ1億4千9百万円増加し、116億3千7百万円となりました。これは主に、利益剰余金が93億9千7百万円と前連結会計年度末に比べ2億2千9百万円増加したことなどによるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成23年5月12日公表の通期の業績予想に変更はありません。今後、業績予想に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示を行う予定であります。

2. サマリー情報(その他)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している資産については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,114,299	4,175,978
受取手形及び売掛金	2,542,257	2,686,528
有価証券	186,479	186,277
商品及び製品	194,757	247,478
仕掛品	218,020	158,368
原材料及び貯蔵品	79,326	98,117
繰延税金資産	47,254	23,723
未収還付法人税等	7,182	533
その他	38,403	39,707
貸倒引当金	△29,855	△29,193
流動資産合計	7,398,123	7,587,518
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,655,616	2,664,530
減価償却累計額	△1,551,104	△1,604,800
建物及び構築物(純額)	1,104,512	1,059,729
機械装置及び運搬具	4,083,620	4,061,191
減価償却累計額	△3,472,174	△3,543,700
機械装置及び運搬具(純額)	611,446	517,490
工具、器具及び備品	1,579,815	1,617,287
減価償却累計額	△387,250	△385,613
工具、器具及び備品(純額)	1,192,565	1,231,674
土地	1,282,315	1,282,315
建設仮勘定	—	93,286
有形固定資産合計	4,190,839	4,184,496
無形固定資産		
投資その他の資産	68,140	60,334
投資有価証券	1,823,176	1,716,921
長期貸付金	78,358	58,485
繰延税金資産	3,914	3,047
その他	538,380	477,583
貸倒引当金	△72,618	△70,484
投資その他の資産合計	2,371,211	2,185,553
固定資産合計	6,630,191	6,430,384
資産合計	14,028,315	14,017,902

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成23年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,418,528	1,362,839
未払法人税等	90,934	86,400
繰延税金負債	—	11
賞与引当金	74,222	31,567
その他	349,091	345,482
流動負債合計	1,932,777	1,826,301
固定負債		
繰延税金負債	124,701	88,184
退職給付引当金	295,974	282,116
資産除去債務	4,211	3,048
未払役員退職慰労金	175,846	175,846
その他	7,189	5,062
固定負債合計	607,922	554,257
負債合計	2,540,700	2,380,559
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,201,700	1,201,700
資本剰余金	1,333,500	1,333,500
利益剰余金	9,167,772	9,397,465
自己株式	△475,316	△503,459
株主資本合計	11,227,656	11,429,206
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,529	△55,178
その他の包括利益累計額合計	6,529	△55,178
少数株主持分	253,429	263,315
純資産合計	11,487,615	11,637,343
負債純資産合計	14,028,315	14,017,902

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 四半期連結損益計算書
 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
売上高	10,027,944	9,425,804
売上原価	7,645,803	6,981,834
売上総利益	2,382,141	2,443,969
販売費及び一般管理費		
配送費	496,984	436,431
給料及び手当	660,555	653,236
貸倒引当金繰入額	—	407
賞与引当金繰入額	14,544	14,998
退職給付費用	18,260	17,852
その他	881,164	867,427
販売費及び一般管理費合計	2,071,510	1,990,354
営業利益	310,630	453,615
営業外収益		
受取利息	12,741	9,420
受取配当金	17,822	20,967
物品売却益	29,691	29,799
貸倒引当金戻入額	—	11,408
仕入割引	9,724	7,535
投資事業組合運用益	1,174	845
その他	19,807	18,941
営業外収益合計	90,961	98,916
営業外費用		
支払利息	222	—
売上割引	1,383	1,756
賃貸収入原価	2,163	2,156
その他	100	264
営業外費用合計	3,869	4,178
経常利益	397,722	548,353
特別利益		
貸倒引当金戻入額	10,887	—
固定資産売却益	69	171
投資有価証券売却益	2,459	1,195
退職給付制度終了益	—	24,061
特別利益合計	13,416	25,428
特別損失		
固定資産売却損	—	1,166
固定資産除却損	16	1,768
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	3,118	—
投資有価証券売却損	—	35,899
投資有価証券評価損	1,291	2,121
会員権評価損	—	800
会員権貸倒引当金繰入額	—	9,400
特別損失合計	4,426	51,156

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
税金等調整前四半期純利益	406,712	522,625
法人税、住民税及び事業税	141,978	178,716
法人税等調整額	29,419	15,587
法人税等合計	171,397	194,304
少数株主損益調整前四半期純利益	235,314	328,321
少数株主利益	9,948	15,142
四半期純利益	225,365	313,178

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	235,314	328,321
その他の包括利益		
其他有価証券評価差額金	△109,143	△61,410
その他の包括利益合計	△109,143	△61,410
四半期包括利益	126,171	266,911
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	116,227	251,471
少数株主に係る四半期包括利益	9,944	15,439

(3) 継続企業の前提に関する注記

当第3四半期連結会計期間（自 平成23年10月1日 至 平成23年12月31日）

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成22年4月1日 至 平成22年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	印刷関連事業	洋紙・板紙 販売関連事業	出版・広告代 理関連事業	美術館 関連事業	カタログ 販売関連事業	
売上高						
外部顧客への売上高	6,656,469	1,266,752	1,121,840	4,514	978,368	10,027,944
セグメント間の内部売上高 又は振替高	428,153	1,008,572	23,968	—	—	1,460,694
計	7,084,622	2,275,325	1,145,808	4,514	978,368	11,488,639
セグメント利益又は損失(△)	259,362	54,736	△528	△24,266	21,921	311,225

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	311,225
セグメント間取引消去	△594
四半期連結損益計算書の営業利益	310,630

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					合計
	印刷関連事業	洋紙・板紙 販売関連事業	出版・広告代 理関連事業	美術館 関連事業	カタログ 販売関連事業	
売上高						
外部顧客への売上高	6,678,058	748,249	1,115,927	3,892	879,676	9,425,804
セグメント間の内部売上高 又は振替高	372,832	923,084	20,156	—	—	1,316,073
計	7,050,891	1,671,333	1,136,083	3,892	879,676	10,741,878
セグメント利益又は損失(△)	407,214	34,011	13,711	△26,444	25,585	454,078

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	454,078
セグメント間取引消去	△463
四半期連結損益計算書の営業利益	453,615

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

当第3四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年12月31日)
該当事項はありません。